

介護関係者各位

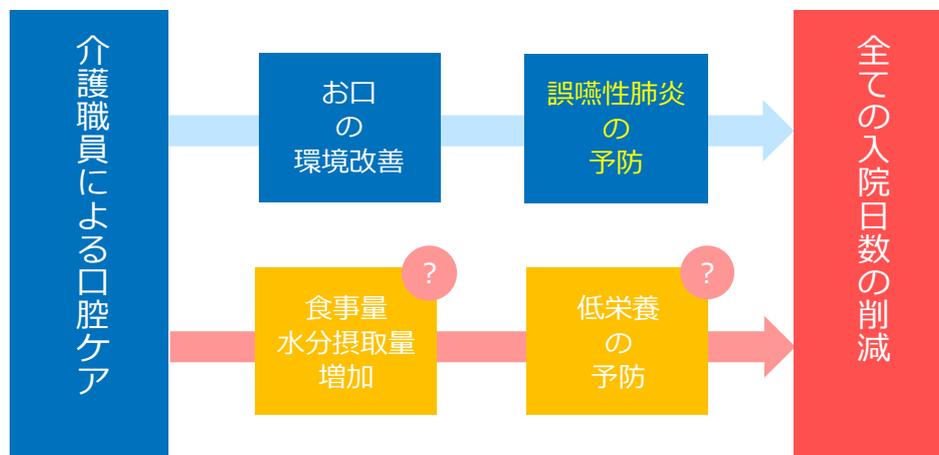
2019年6月20日

株式会社クロスケアデンタル

介護職員が行う標準化された口腔ケアの入院予防効果および医療費削減効果の検証
全国老施協総研2019年度調査研究採択のお知らせ
～口腔ケアの科学的介護への確立に向けて～

弊社代表の瀧内博也が所属する九州大学大学院 歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔医療連携学分野にて全国老施協総研2019年度調査研究事業へ応募をしたところ、調査研究事業として採択頂きました。本調査研究事業の目的は、以下の通りです。

「介護職員が週2回の標準化された口腔ケア（TAKIUCHI式口腔ケア）を行うことで、誤嚥性肺炎のみならず全体の入院日数を減少させる（全ての疾患を予防できる）ことが可能であるか検証し、その医療費削減効果を明らかにする。そして、口腔ケアを科学的介護として確立させていくとともに、本研究の効果を基とした現行加算制度の評価および新規加算の創設を図る。」
これまでの誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトの取組により、TAKIUCHI式口腔ケアにより誤嚥性肺炎による入院だけでなく全ての疾患による入院日数が減少することが明らかとなっています。本研究により、**口腔ケアによる入院日数減少メカニズムの解明を進めて参ります。**



【募集】全国老施協総研2019年度調査研究採択への参加事業者

参加条件：全国および各県/市の老人施設協議会の会員さま
誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトおよび本研究へのデータ提供へのご協力
調査対象：1,000名（特別養護老人ホーム利用者）
調査補助：利用者全員分の口腔ケア物品（歯ブラシ・タンクリーナー）のご提供
調査期間：2019年4月1日～2020年3月31日
募集期間：2019年8月31日まで
その他：調査対象人数が1,000名に達した時点でご応募締切とさせていただきます。

本件に関する問い合わせ

株式会社クロスケアデンタル TEL：092-986-9600 Mail：info@crosscare-dental.jp